

平成28年度 学校経営計画に対する中間報告書

石川県立羽咋工業高等学校

重点目標	具体的取組	達成度判断基準	集計結果	分析(成果と課題)及び後期の扱い(改善策等)
1 生徒全員の進路実現のため、全教職員がICT活用やAL型授業の推進を掲げた本校の学習指導方針(スクールポリシー)のもと、学力スタンダード等を活用して、個人として教科として授業改善するとともに、資格取得を奨励し、学力向上に努める。	① 思考力・表現力・コミュニケーション力の育成を目指す。効果的なICT活用やAL型授業を取り入れた研究授業や公開授業に取り組む。	授業改善に向けた研究授業や公開授業を、年間2回以上取り組んだ教師の割合が A 80%以上 B 65%以上 C 50%以上 D 50%未満	1学期に教諭・講師30名のうち実施した人数 2回：0名(0%) 1回：16名(53%) 0回：14名(47%)	公開授業等の取組は6月よりスタートさせた。教諭・講師30名のうち1学期に研究授業や公開授業を行った回数と人数は、1回が16名、出来なかったが14名となった。今年度はアクティブ・ラーニング型の授業を全教科で進めており、授業参観の際には観察項目シートを活用して授業を評価し、研究協議会を実施している。また映像資料やインターネット動画などの、ICT機器の活用を進めている。今後は、2学期も引き続き研究授業や互観授業・公開授業等を通して授業改善を進めていきたい。
	② 学力向上を図るために教科の宿題やレポートの出題方法と回数を工夫するとともに、授業と資格取得の補習指導を通して家庭での学習習慣を身に付けさせる。	宿題・レポート・資格取得など、家庭での学習活動について A 十分取り組むことができた B おおむね取り組むことができた C あまり取り組むことができなかった D 全く取り組むことができなかった	生徒対象に7月にアンケート調査 A：30% B：55% C：14% D：1% 評価：A・B合わせて85%	生徒対象アンケート結果は、A・B合わせて85%となり、中間評価では判定基準の80%をクリアした。前年前期とほぼ同じで、授業課題・レポート・資格取得の他、朝・昼・夜の補習等の成果であると考えられる。しかしながら、他の調査項目の家庭学習時間が「ほとんどしなかった」が39%おり、学校の補習に依存している面がある。後期に多く実施される資格検定に向けた勉強を中心にして、家庭での自発的な学習習慣づけるように働きかけ、学力向上にもつなげるように努力していきたい。
	③ 全教員が愛読書を薦めたり、昼食時の出前図書などの読書運動を全校的にを行い、生徒に読書の習慣を身に付けさせる。	2学期末での貸し出し図書数が A 1,300冊以上 B 1,100冊以上 C 900冊以上 D 900冊未満	7月に調査 7月末の貸出数 894冊 B評価(1,100冊)に対する達成率81.0%	7月末の貸し出し図書数は894冊で、前年同期の626冊を大きく上回っている。2学期末目標1,300冊の69.0%が達成されている。今年度は、昨年の図書館棟大規模改造・耐震補強工事がなく、図書館本来の機能が働いており、昨年より多いペースで貸し出し図書数が伸びている。2学期からは、出前図書の実施や、校内放送等を利用して「先生のお薦めの1冊」運動をしっかりと展開していきたい。
	④ 資格・検定取得の説明機会を増やして受験を奨励するとともに、土曜授業や課外補習を充実させ合格者数を増加させる。	1月末での資格・検定試験延べ合格者数が学校全体で A 800人以上 B 700人以上 C 550人以上 D 550人未満	8月末の資格・検定試験合格者数を検証 8月末現在では407人 B評価(700人)に対する達成率58.1%	8月末現在の集計では、資格・検定試験合格者数は407人となり、判定基準であるB評価(700人以上)に対する現時点での達成率は58.1%であった。昨年前期と比較し合格者数はほぼ同数となっている。2学期以降に受験する資格・検定も多く、教務課とも連携した資格・検定試験の受験奨励および補習の充実等により目標を達成するよう努力したい。また、ジュニアマイスターの申請者増加に向けた取組を各工業科や担任に働きかけていきたい。
	⑤ ジュニアマイスターのゴールドおよびゴールド特別表彰、シルバー、校内顕彰プロンズの取得を目指し、学校全体で多くの資格・検定への挑戦意識を高めて認定者数を増加させる。	ジュニアマイスターゴールドおよびシルバーの認定者数が学校全体で A 80人以上 B 65人以上 C 50人以上 D 50人未満	前期申請者数を検証 前期認定者数16人 B評価(65人)に対する達成率25%	前期の集計では、認定者合計は16人(ゴールド7人、シルバー9人)となり、前期認定者数としては昨年度の46人より30人減少し、判定基準であるB評価に対する達成率は現時点で25%であった。しかし、2学期は資格・検定の受験機会も多く、合格に向けて生徒への働きかけと補習の充実により判定基準65人以上を達成したい。また、1・2年生に申請を促し、学校全体で資格・検定への挑戦意識を高めて認定者数を増加させるとともに、前年度同様ゴールド特別表彰者が多数できるように難易度の高い資格・検定の受験も奨励していきたい。
	⑥ インターンシップや地元企業説明会等により適切な進路選択を促進させるとともに、進路説明会やLHなどで進路に向けた情報提供を行なう。	各種進路指導行事・LHなどによる説明や進路情報により、意識が A たいへん高まった B ある程度高まった C あまり変わらない D 全く変わらない	生徒対象に7月にアンケート調査 A：44% B：53% C：3% D：0% 評価：A・B合わせて97%	生徒対象アンケート結果、意識が高まった割合は、A・B合わせて97%となり、判定基準をクリアしている。前年前期と比較してほぼ同数である。求人件数が増加しているなか、今年度の2・3年生の就職希望者は、共に約70%台後半と多い。後期には、2年生のインターンシップも控え、意識はより高まると予想される。進路に対して、時期に見合った指導を行い、意識を高めていきたいと考えている。今年度も1・2年生を対象とした”地元で働く卒業生と語る会”や”先輩(大学生)と語る会”も計画している。
	⑦ 進路希望の達成のために指導の充実を図る。基礎学力の定着を図ると共に、授業でコミュニケーション力を付けさせる工夫を行う。外部講師による講演や面接指導、全教員による個別面談・指導を充実させる。	朝学習や日頃の学習、面接指導などにより、基礎学力やコミュニケーション力が A たいへんついた B ある程度ついた C あまりつかなかった D 全くつかなかった	生徒対象に7月にアンケート調査 A：39% B：54% C：7% D：0% 評価：A・B合わせて93%	生徒対象アンケート結果、実力がついた割合は、A・B合わせて93%となり、判定基準をクリアしている。前年前期と比較してほぼ同数である。昨年度から全学年による朝学習を導入し、学年ごとに振り返り学習等のプリントを毎朝行ってきた。生徒も落ち着いて取り組んでおり、学校全体として習慣化している。2学期以降も、有意義な取り組みになるよう継続させていきたい。また、3年生の就職進学に向けて、面接指導等全教員協力の下、取り組んでいきたい。
学校関係者評価委員会の評価	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用した授業で、能動的に生徒に授業を受けてもらうというのがあるが、授業参観でも見せて頂いたが、後ろのほうの生徒は見えづらい。そういったところの変えていったほうがよい。 家庭学習についてのC・D評価14%、1%は、家庭学習が何故できなかったのかというのと一緒にわかるようになっていくのか。その子たちは、家庭学習に対する意識がないということなのか、部活動がありできない状態なのかということを突き詰めてほしい。 資格に対する生徒への告知をどのように行っているのか、いま一つわからない。数ある資格の中から是非もう少し資格のことに教えてあげて欲しいし、もっと告知してもらえれば資格取得は増えていくと思う。 			
学校関係者評価委員会の評価を踏まえた今後の改善策	<ul style="list-style-type: none"> 1年生の教室の前半分のカーテンを暗幕カーテンにした。今後も暗幕カーテンをどんどん入れて、見えやすいようにしたい。但し、お金もかかることだから、しっかり交渉もして行きたい。 多くの先生方に積極的に課題を出すようにお願いし、家庭学習が増えるように工夫する。また、各先生がどの教科に宿題を出したのが分かるように一覧表に記入し、状況を把握し、学習を促していく。 資格試験について、それぞれに関係した担当者から詳しく説明したり、告知をしたりしていく。難易度が高く受験者が少ない資格についても、希望者が増加するように工夫していきたい。 			

重点目標	具体的取組	達成度判断基準	集計結果	分析(成果と課題)及び後期の扱い(改善策等)
2 心身ともに健康で逞しい(タフな)人づくりを目指し、規範意識を高め、生徒会活動や部活動の活性化に勤める。	<p>① 本校の運動部は、県高校総体・新人大会で団体・個人とも上位を目指し、高体連表彰取賞を獲得する。</p> <p>② 文化部で部活動への重複加入を奨励し、各部の取組や活動に、生徒が積極的に取り組み、よい成果を取める。</p> <p>③ 生徒会を中心にして行事への参画意識を高め、自主的に参加する行事にする。</p> <p>④ 倫理観・道徳意識に関する全校一斉読み聞かせや発表会を行い、規範意識の向上を目指す。</p> <p>⑤ 保健日よりや集会、SH等を利用して、生徒の心身の健康管理についての意識の高揚をはかる。</p>	<p>高体連基準総合得点が A 75点以上 B 60点以上 C 50点以上 D 50点未満</p> <p>文化部の活動や成果に満足しているか A たいへん満足している B おおむね満足している C あまり満足していない D まったく満足していない</p> <p>生徒会行事に満足しているか A たいへん満足している B おおむね満足している C あまり満足していない D まったく満足していない</p> <p>本校の教育活動や朝の読み聞かせ・発表会により、規範意識が向上したか A 十分向上した B 少し向上した C あまり向上していない D 全く向上していない</p> <p>自分自身の心と体の健康管理について、日頃から意識して生活しているか A 常に意識している B ある程度意識している C あまり意識していない D まったく意識していない</p>	<p>県総体6月末集計結果 61.1点 評価：B</p> <p>各文化部対象に7月にアンケート調査 A：48% B：46% C：6% D：0% 評価：A・B合わせて94%</p> <p>生徒対象に7月にアンケート調査 A：45% B：48% C：6% D：1% 評価：A・B合わせて93%</p> <p>生徒対象に7月にアンケート調査 A：37% B：54% C：7% D：2% 評価：A・B合わせて91%</p> <p>生徒対象に7月にアンケート調査 A：16% B：62% C：20% D：2% 評価：A・B合わせて78%</p>	<p>これまでの県総体の結果、現在の総合得点は61.1点で22位である。この結果は相撲部3位、弓道部男子の5位、卓球部女子・柔道部男子・剣道部男子・ソフトテニス部男子のベスト8、ヨット部男女の数々の優勝によるものである。個人ではソフトテニス・柔道・剣道部が北信越大会に出場している。今後のラグビー部を加えた最終結果を待ち最終評価を行う。</p> <p>文化部加入者対象アンケート結果、A・B合わせて94%の生徒が活動や成果に満足していると回答した。前年前期と比較してほぼ同数である。今後、文化部は9月末に行われる羽工祭や高文連各種行事、全国産業教育フェア石川大会の発表の場を活かしてより成果が得られるよう生徒に働きかけていきたい。</p> <p>生徒対象アンケート結果、A・B合わせて93%の生徒が満足していると回答した。前年前期と比較してほぼ同数である。生徒会役員を中心にした全校生徒への働きかけや、日々の委員会活動、各行事の内容をさらに充実させていかなければならないと考えられる。9月末に生徒会の最大行事、羽工祭がある。全生徒が満足できるよう取り組んでいきたい。</p> <p>生徒対象アンケートの結果、「向上した(A・B)」と答えた生徒は91%となり、中間評価では判定基準(85%)を越えることができた。挨拶指導、自転車指導、一日一善運動に加え新しい取組「規範意識を高める読み聞かせ・話し合い・発表会」等、教育活動全般で倫理観・道徳意識の向上に著実に効果が出ていると考えられる。後期もさらに工夫と改良を加え、生徒の行動が変容するよう取り組んでいきたい。</p> <p>生徒対象アンケート結果、A・B合わせて78%となり、判定基準の75%以上は達成できた。前年前期と比較してほぼ同数である。しかし、昨年度も冬季に実施した調査では、7月の調査より3ポイント減少したので、今回の結果に安心することなく取り組んでいきたい。また、2学期以降は残暑の厳しい季節から冬へと向かい、体調を崩しやすい時期となり、冬季にはインフルエンザの流行も予想されるので、生徒の健康に対する意識がさらに向上するよう努めたい。</p>
3 社会貢献や環境に対する意識を高めるため、工業学習成果の提供や奉仕活動等を積極的に行い、地域社会との連携を深める。	<p>① 社会に貢献する大切さや必要性を認識するために、地域ボランティア活動や校外での一日一善運動を推奨する。</p> <p>② 環境保全のこれまでの取組を向上させ、ゴミ分別や環境保全が正しく行われているかを評価し、美化意識の向上を目指す。</p>	<p>地域ボランティア活動や一日一善運動を通して社会貢献の大切さを理解しているか。 A 十分理解している B ある程度理解している C あまり理解していない D 全く理解していない</p> <p>平均18点以上の教室が A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満</p> <p>環境保全(ゴミの分別・節水・節電等)に取り組んでいる割合が A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満</p>	<p>生徒対象に7月にアンケート調査 A：54% B：42% C：4% D：0% 評価：A・B合わせて96%</p> <p>ISO委員により、7月中に教室清掃を1週間調査(1日20点満点で評価)平均点が18点以上のクラス3クラス(33%) 評価：D</p> <p>7月にアンケート調査 よくあてはまる 41% ややあてはまる 47% 評価：B あわせて88%</p>	<p>生徒対象アンケート結果、A・B合わせて96%の生徒が社会貢献の大切さを理解していると回答した。地域のボランティアや「一日一善運動」への意識の高さが読み取れる。今後は日々実践できる生徒の育成を図らなければならない。生徒会活動・部活動・クラスをあげて具体的な活動を提案していきたい。生徒の意欲を尊重し社会に貢献できる生徒を育てていきたい。</p> <p>7月のISO委員による調査では、わずかに3クラスが、1週間の調査期間の平均が18点を上回った。全体の平均が16.9であり、昨年までと比較すると低い数字となった。今後は様々な機会を通して、丁寧な清掃や校内の環境美化を生徒たちに実践させていきたい。</p> <p>生徒対象のアンケート結果、A・B合わせて88%の生徒が環境保全に取り組んでいると回答した。評価としては悪くはないが、昨年までは90%を越えており、若干数値が低下している。今後は、更に環境保全についての生徒たちの意識の高揚を図っていきたい。</p>
学校関係者評価委員会の評価				<p>・倫理観と規範意識の調査を行っているが、生徒自身の心と体、心の発達、そういうところを社会の現状に対して皆さんどういう見解なのか非常に興味がある。いじめや自殺などショックなことだが、思春期の子ども達はどう思っているか、子ども達に考えさせるのも大切だと思う。</p> <p>・ホームページについてB・C・Dの評価が多い。更新するのが大変だろうと思うが、それでも少し物足りない気がする。もう少し見てみたいという気になるようなホームページになれば良い。</p> <p>・社会からこの学校がどう評価されているのか、就職で企業に生徒を送り込んだら、確実にレポートとして求人が来ているかどうかが大切である。離職にも関わってくると思うが、それを知るために、企業でやっているお客様満足度評価アンケートの形で、学校が企業にどれだけ満足してくれているのかを知る要素があれば良いと思う。</p>
学校関係者評価委員会の評価を踏まえた今後の改善策				<p>・月1回の規範意識週間の6月のテーマが「いじめをなくすためにあなたにできることはなんですか」で、一週間、生徒は考えており、グループディスカッションをして発表を行った。その中で子ども達はものすごくよい発表をたくさん聞いて、周りの生徒がものすごく心が打たれたと言っていた。この取組をさらに工夫・改善して、子ども達が考える機会を増やしていきたい。</p> <p>・ホームページは、生徒のアクティブな部分をより多く載せれば、保護者の方ももっと見ようかなという気になると思うので、努力していきたい。</p> <p>・求人については、昨年度も今年度も増えており、新規企業の求人も増えている。入社後に卒業生がしっかり働いているかどうか、先生方が手分けをして会社訪問しケアを行っているが、より充実させたい。また、会社訪問時に入社後4年間の離職状況とその理由を調べているが、企業の満足度も聞くようにしていきたい。</p>